

2025年6月20日作成 第4版

《情報公開文書》

外来化学療法室におけるAYAカンファレンスおよび
AYAがん患者受け持ち看護師制度導入による
スタッフの意識と実践の変化

研究の概要

【背景】AYA世代(15～39歳)は就学、就職、結婚、出産などの様々なライフイベントのある年代に当たり、療養中さまざまなつらさや気付きをもつことが予測されるため、ライフステージに応じた個別性の高い対策支援が必要となります。当院外来化学療法室では2024年度よりAYAカンファレンスを開始し、AYAスクリーニングシートで把握した患者さんの気付きについて、多職種で多角的な視点で支援を検討し、提供できるよう努めてきました。さらにAYAがん患者さんのみ受け持ち制度を導入しました。これらの介入によりAYAがん患者さんに対するスタッフの意識や実践に何らかの変化があったのか明らかにしたいと考えます。

【目的】AYAカンファレンスおよびAYAがん患者さん受け持ち制度導入によりAYAがん患者さんへのスタッフの意識や実践に何らかの変化があったのかを明らかにしたいと考えます。

【意義】AYAがん患者さんへの意識や対応の変化、また課題が明らかになることで、今後のAYAカンファレンスや受け持ち看護師制度のシステム再編やスタッフ教育の示唆を得ることができる可能性があります。

【方法】

- ① 電子カルテより対象患者さんにおいてAYAカンファレンスを開始する前(2023年8月1日～2024年7月31日)と後(2024年8月1日～2025年7月31日)のAYAスクリーニングシートの気付きの内容を確認し、それらにどのように対応したのかについて看護記録より調査を行います。
 - ② 外来化学療法室看護師、がん看護外来看護師、緩和ケアセンター看護師、がん相談支援室医療ソーシャルワーカーへアンケート調査を行います。
- ①、②の結果を分析・考察し、AYAカンファレンスとAYAがん患者さん受け持ち看護師制度導入によりAYA患者さんに対するスタッフの意識や支援にどのような変化があったのかを明らかにします。

対象となる患者さん

2023年8月1日～2025年7月31日に外来化学療法室を使用したAYA世代がん患者さん

研究に用いる情報

- 研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者さんの背景（性別、年齢、病名、治療目的(術前化学療法、術後補助療法、再発転移による治療など)、外来化学療法室利用回数）

- AYA スクリーニングシートでチェックがついた気がかりな項目、その詳細についての看護記録とその項目に対してどのように対応したかについての看護記録

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2025 年 7 月 17 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2026 年 12 月 31 日

研究実施体制

研究責任者

所属：長崎大学病院 化学療法室
氏名：岩崎 知子
住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1
電話：095 (819) 7787

情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 化学療法室 岩崎 知子

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095 (819) 7787 FAX 095 (819) 7935

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）